

しみずの教育

ちよつといい話

【令和元年8月号】

清水小学校

校長 高井正樹

校外学習でお世話になっています

2年生は、郵便局、銀行、電気屋さん、パン屋さん、お肉屋さん、印刷屋さんにお邪魔して、お店の中やお仕事の様子を見学し、お店の人にたくさんインタビューをしました。



3年生は、バスに乗って町内を巡り、育成牧場、開拓記念碑、パノラマパークなどを見学しました。子どもたちにとって、町の自然や産業、人などに直接触れて、わが町、清水を知り、学ぶことは、とても貴重な経験です。このような学び（十勝清水学）を通して、ふるさと清水に愛着や誇りをもつ子どもたちを育てています。

また、4年生は社会科「水のゆくえ」の学習のまとめとして、浄水場と下水終末処理場の見学に出かけました。私たちの生活に

欠かすことのできない“水”が、どのようにして各家庭に届けられ、使用した汚水がどのように処理されるのかを学んできました。それぞれの施設で、職員の方から説明を聞いたり、質問をしたりしながら、施設・設備の様子、そこで働く人たちの苦勞などを知り、私たちの生活を支える安全で清潔な水の行方について、学びを深めることができました。



ご協力いただいた皆さんには本当にお世話になりました。心から感謝いたします。

御影小学校

教頭 宮崎 哲

3名の体験入学が終了しました

アメリカから夏休みを利用して御影小学校に体験入学していた3年生1名と兄弟の2・4年生各1名、合わせて3名はそれぞれ体験入学を終えました。それぞれ保護者の実家が御影

小学校の校区にあります。3年生は6月11日から7月22日までの約1か月間、兄弟の2・4年生は7月12日から7月19日までの約1週間の期間を御影小学校で過ごしました。3人ともクラスの中にすっかり溶け込み、石の子の一員として元気に学校生活を送っていました。これから少し寂しくなりますが、また来年も体験入学に来てくれることを楽しみに待っています。

書写ボランティアの皆さん、ありがとうございます

今年度も町内の学校では、書写ボランティア（生涯学習ボランティア書道部会）の皆様のご協力を得て、毛筆の実技指導をしていただいております。御影小学校においても、3年生～6年生の書写の時間に本校に来ていただき、ご指導をいただいております。今年度御影小学校の指導を担当される書写ボランティアの皆さんは、6名の方々です。1年間で3、4年生はそれぞれ4回ずつ、5、6年生はそれぞれ5回ずつの計18回のご指導をいただきます。既に1学期は各学年1回ずつ計4回のご指導をいただきました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



清水高校2年生のインターンシップ

清水高等学校のインターンシップとして清水高等学校の2年生1名が7月23日から7月25日までの3日間、2年生（児童20名）の教室を中心に授業の参観や、清掃や給食、授業の補助など、3日間のインターンシップを行いました。生徒さんは本校の卒業生です。たくさん子どもたちと接したいという目標を持ってインターンシップに臨んでくれました。早速初日の休み時間から、生徒さんの周りに子どもたちの輪ができていました。今後も将来の夢の実現に向けて頑張ってもらいと思います。



プログラミング教育に向けて～校内研修～



次年度、小学校で全面実施となる新学習指導要領では、プログラミング的思考を育むことが必修となっています。ただし、それは独立した教科ではなく、既存の教科に関連付けて学ぶなどし、内容・時数等についても学校の裁量に任されています。先日、研修部の先生方が中心となり、実際にパソコンを操作しながら、校内研修をしました。今後も、先生方みんなで様々な研修を進めてまいります。

◇地域行事に参加・・・吹奏楽

夏休み真っ只中、生徒たちは大会やコンクールに向けて部活動の練習に励んだり、地域行事に参加したり、また家族で旅行に出かけたり、充実した毎日を送っている様子です。

7月27日、吹奏楽部は、「清流祭り」において、嵐の「夏疾風」に始まる数曲を町民の皆様にご披露させていただきました。たくさんの方々に大きな拍手をいただき感謝いたします。



◇学校花壇の手入れ



また、夕方になると学校の花壇には数人の生徒が草むしりや水遣りに訪れます。きれいに咲いた花々を見て、にっこりとする姿に生徒の優しさを感じます。

◇進路実現にむけた暑い夏

3年生は、この夏休みが勝負だと、宿題はもちろん自らの計画のもと、自己の進路実現に向けて学習に取り

組みます。そうした生徒たちを支援するために先生方も交代しながらサポートやアドバイスを行っています。どの学年も夏季学習会を5日間ほど設定し、生徒たちが集まりました。

暑い日が続きますが、学校を離れ、家族との時間を過ごしたり、日頃できない経験をしたりして、大きく成長した生徒たちと顔を合わせる2学期のスタートが楽しみです。



十勝から、ふるさと清水を考える ～十勝清水学～

6月下旬から7月上旬にかけ、1年生は然別湖で、2年生は日高町で地域貢献学習（自然体験）を行いました。自然の中で、人との関わりやチームワークを大切に取り組むと同時に、十勝の姿を見つめる良い機会となりました。また、十勝管内の他町村へと足を伸ばし、視野を広げることで、その地域の課題や魅力を知ることができました。今回の体験活動を通して実際に見たり聞いたり、肌で感じたものと、学校での調べ学習の中で得た知識を活用し、帰

校後に発表会を行いました。

普段と見方や視点を変えて外側から清水町を見ることで、わが町の抱える課題や魅力に気づき、自分たちにできることは何かと考えるきっかけにもなったようです。これからも「清水学」として、清水町の歴史、実情や将来について理解を深めていきます。

□1年生、然別湖へ

7月3日、澄み切った青空の下で自然体験が行われました。午前中は二人一組でカナディアンカヌーの体験です。最初は息が合わずに苦労していましたが、次第に声を掛け合い協力しながらスムーズに操作できるようになりました。仕掛けてあったウチダザリガニの網を引き上げ、大量のザリガニに驚きの声を上げる面々。午後からは特定外来生物の被害と然別湖の現状、自然の大切さ、人間ができることなど、ネイチャーセンターの方にお話をいただき、真剣な表情で聞く姿が印象的でした。最後に、捕獲したザリガニを試食しましたが、思った以上に美味しかったようです。



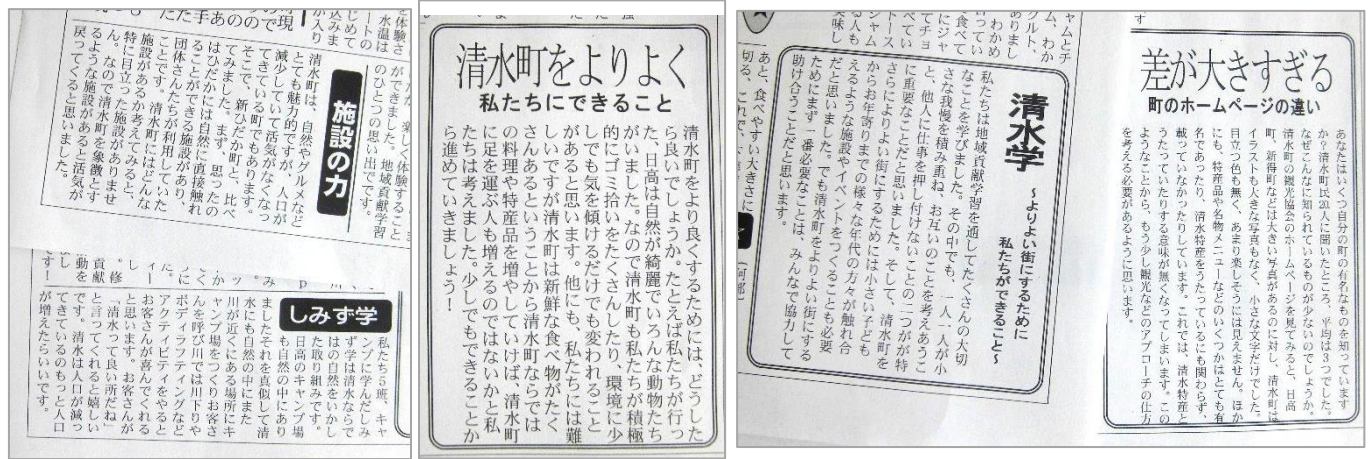
□2年生、日高青少年自然の家キャンプ場へ

6月27、28日は2年生のキャンプが行われました。便利な日常生活から離れ、すべてを自分たちで考えながら活動した2日間は大変貴重なものでした。1日目のテント張りからスタートし、午後は川下り、ボディラフティング、夕食の炊事、夜はキャンプファイヤーやナイトハイキングなど自然を満喫しました。2日目は、少年の家本館でのアクティブラーニングです。様々な活動を通して人との関わり方や仲間と協力して知恵を出し合い、解決していくことを楽しく学ぶことができました。



事後学習として、各班で体験活動を新聞にまとめました。また、同じ十勝管内の日高町と私たちの清水町を比較し、様々な視点でふるさとについて考えた内容を記事にしたことで、我が町への意識も高まったようです。

2学期に1年生は町内の工場見学、2年生は町内の職場体験など今度は内側から清水町を学びます。



【第2学年の、まとめの新聞の記事より抜粋】

清水高等学校

校長 平野 道雄

さようなら！ ペイジ先生(T-T)

本校のALTとして平成29年(2017年)8月からお世話になっていたペルティア・ペイジ先生がこの7月をもって帰国することとなりました。アメリカ合衆国ニューヨーク生まれのペイジ先生は、その明るく元気なお人柄で、英語の授業や放課後の英会話教室のほか、他教科の授業などにも協力し、語学力の向上のみならず、生徒の外国への関心を高めていただきました。芽室高校や鹿追高校の英語指導などにも携わり、大変感謝されていきました。2年間お世話になりました。



【授業中のペイジ先生】

外部講師から学ぶ清水高校生

7月18日(木)、3年次の自然科学系列に設けられた「課題研究」の授業の一環として、北見工大の井上真澄准教授をお招きし、出張講義を行いました。せっかくの機会なので、工学などに関心がある他系列や他学年の生徒に声をかけたところ、当初予定していた人数をはるかに超えた41名が最先端の研究に触れ、目を輝かせて講義に聴きっていました。大学などの高等教育機関では、



【北見工大「出張講義」】

学科の枠を超え、分野を横断して多角的に研究する、いわゆる学際教育の必要性が高まっていますが、本校でも、総合学科の特徴を活かし、系列に分かれ専門の分野を磨くとともに、系列や科目の連携に取り組んでいます。今回の出張講義もそうした取組の一つです。

7月19日(金)、2・3年次の性に関わる指導を、帯広人権擁護委員協議会の今野峯夫委員

をお招きし、体育館で行いました。他に清水町の委員の方などにもたくさん来て、参加いただきました。1年次では、学級単位の保健の授業の中で、担当教員が思春期保健地域プログラム「性感染症・エイズとその予防」に取り組んでいます。本校では、自他を尊重する態度を醸成するため、教員に



【人権擁護委「性に関わる指導」】

よる通常の授業と、学校外の専門の講師による講義をうまく組み合わせ、より効果的な学習になるよう、工夫しています。

7月23日(火)～25日(木)、2年次の「総合的な学習の時間」でインターンシップを行いました。生徒は、将来の職業を見据えて、清水町内11事業所(下記参照)をはじめとする41の事業所にわかれ、三日間実習をしました。インターンシップを行うに当たり、事前学習として7月16日(火)、帯広商工会議所登録講師であるoffice フォージェミネートの高橋好志子代表をお招きして、社会人講話も実施しました。演習を交えながら、企業での心掛けや従業員との関わり方、また社会での心構えなどについて学ぶことができました。



【インターンシップ 事前学習「社会人講話」】

インターンシップにご協力いただきました清水町内の事業所は、次のとおりです。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

有限会社秋島建設、有限会社あすなろファーマーミング、イエローグローブ清水店、いたばしデンタルクリニック、清水小学校、清水消防署、清水赤十字病院、清水第一保育所、清水町役場、清水幼稚園、せせらぎ荘

清水高校では、様々な機会に学校外の専門家による講義や講演などを行うことで、学習への関心や理解を深めるとともに、キャリア教育の充実を図り、社会で活躍できる視野の広い人材の育成に取り組んでいます。

清水幼稚園

園長 帰山 孝美

【ほしの子まつり】…天候を考え、園内で開催





子ども盆踊り

7月12日（金）に、ほしの子まつりを開催しました。七夕飾りをつくったり、願い事を書いた短冊を飾ったりしながら、心待ちにしていたのですが、あいにくの雨になったので、2年連続で園舎の中で開催することにしました。

開会式の中で、年長さんが『よい子のちかい』の大役をこなしました。お友達と話し合いながら考えた“ちかい”ということで、心ひとつにとっても上手に発表していました。練習してきた盆踊りもバッチリきまり、その後は子どもたちの楽しみにしている親子でフリータイムになりました。

夜店には「お菓子釣り」、「ボールころがし」などのゲームや食べ物として「おにぎり」「ザンギ」今年初めての「わにわにパニック」が出店され、子どもたちも大喜びでした。

準備いただいた父母と先生の会実行委員さん、ひぐまの会（お父さん）の皆様のおかげと感謝しています。



ひぐまクラブスタッフ

【プール活動】…水に親しむ

清水小学校プールを利用して、『プール活動』を2回行いました。水中の貝拾いやフラプープくぐりなど水に顔をつけての活動でしたが、お友達と競いながら楽しく水に親しむことができました。



今年は思ったように気温が上がらず、園庭での水遊びが3回しかできませんでした。異年齢で遊ぶことを楽しみにしていたので少々残念です。夏休みに入りやっと暑い日がやってきました。きっと笑顔いっぱい水遊びやプールに出かけていることと思います。

教育委員会

第12回 中・高連携サイエンス・サマースクールの開催 植物が水を吸い上げる力！！

毎年恒例のサイエンス・サマースクールも今年で12回を迎えました。今回のテーマは「植物が水を吸い上げる力！」です。植物が根から水を吸い上げ、道管を通して、気孔から水蒸気として放出。その様な水の流れを生み出す仕組みを、化学や物理の視点から実験を行いました。

中・高生に興味がわく題材を中心に講師から説明を聞いたあとで、最初の大気圧実験が行われました。3階から1階の水をストローで吸い上げる実験に代わる代わる挑戦しましたが、思うように吸い上げられず、10m以上もある木がしっかり水を吸い上げることにあらためて関心していました。また、身近な市販されているしょうゆボトルの仕組みやキャップの工夫について学び、見るほどに興味が高まりました。

浸透圧実験では、かいわれ大根を使った実験、半透膜を使った実験など身近な化学に驚くと共に、化学や生物などへの興味が高まりました。

参加者のアンケートには、「特に大気圧の実験が面白かった。なぜ10m以上になったら水が上がらないのか詳しく知りたいと思った。次の理科の授業は今までより興味を持てると思う」とや「浸透圧は医療などでも活用されていると知り、人類と化学は切っても切り離せない関係なのだなと思った。毛細管現象については、早く謎を解き明かして欲しい」と言う声が多く書かれていました。



(教育指導幹 福原幸江)



ほろ教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏〜かぐわしい香りの中で 志(夢)大きく高く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、家族の一員

お手伝い

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは